

九州運輸局メールマガジン  
平成 21 年 12 月 4 日 第 60 号（発行日：毎週金曜日）  
～九州の明日を拓く運輸と観光～  
九州運輸局 H P アドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

今週も九州運輸局メールマガジンをご覧いただきありがとうございます。

ご注意願います！

国土交通省（本省）合同庁舎の電気設備定期点検のため下記の期間「九州運輸局ホームページ」の公開が停止されます。

これに伴い、今号のメルマガの URL も同じ期間中開くことができません。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解願います。

停止期間 12月4日（金）19時～12月5日（土）20時

#### 目次

- 1．九州運輸局ホームページアップ情報（11月27日～12月3日掲載分）
  - トピックス
  - プレス発表
  - 入札・契約情報
  - 行政処分
  - お知らせ
  - 九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会
- 2．現場レポート
  - ひとり歩き点検隊
  - 「第7回 海事振興セミナー」を開催！  
～海の貴婦人「海王丸」に、うっとり～
- 3．九州運輸局セミナー
  - 鉄道施設の検査の紹介
- 4．リレーコラム
- 5．編集長だより

#### 【九州運輸局ホームページアップ情報】（11月27日～12月3日掲載分）

##### トピックス

・自動車事故報告規則の一部改正及び自動車運送事業者等が引き起こした社会的影響が大きい事故の速報に関する告示の制定について

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file21/file211202.pdf>

##### プレス発表

###### 《安全》

・年末年始の輸送等に関する安全総点検を実施します（12月3日発表）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091203.pdf>

###### 《観光》

・「VJC 魅力ある日本のおみやげコンテスト 2010」候補商品を募集します（11月30日発表）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091130\\_2.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091130_2.pdf)

###### 《海事》

- ・管内造船所の建造量は微増 受注量は大幅（ 99.5%）減少（11月27日発表）  
～平成21年度上半期九州・山口（西部）の鋼製船舶造船実績～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091127.pdf>

- ・長距離フェリー輸送量大幅減少続く（11月30日発表）  
～平成21年度上半期 長距離フェリー輸送実績～

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091130\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091130_1.pdf)

#### 入札・契約情報

- ・企画競争実施予定情報（12月2日現在）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou\\_091202.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_091202.pdf)

- ・企画競争実施公示

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)

#### 行政処分

- ・自動車整備事業者の法令違反に対する行政処分状況

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/seibi/seibi.htm>

#### お知らせ

- ・佐賀運輸支局長は、自家用自動車の使用停止処分を命じました。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_021/file21\\_211130.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file21_211130.pdf)

- ・福岡運輸支局長は、自家用自動車の使用停止処分を命じました。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_021/file21\\_211120.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file21_211120.pdf)

- ・平成21年度 整備管理者選任前研修の開催について（差替）

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_021/file055/file055\\_21\\_12\\_02.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file055/file055_21_12_02.pdf)

- ・「九州運輸局ホームページ」公開停止のお知らせ

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_021/file21\\_teise.htm](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file21_teise.htm)

#### 九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会

- ・メールマガジン 34号

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu\\_green/mail/pdf/mail\\_magazine/No\\_34.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/mail/pdf/mail_magazine/No_34.pdf)

### 【現場レポート】

#### ひとり歩き点検隊

我が国は、「観光立国」の実現を目指して、2010年までに訪日外国人旅行者の数を1000万人に、また、2016年までに訪日外国人旅行者の数を2000万人に増加させることを目標として、様々な取り組みを進めておりますが、外国人観光客が公共交通機関を利用して、ひとり歩きできる環境整備を図ることも重要な施策です。

九州運輸局は、関係機関の協力を得て、平成18～19年度に九州内6箇所(福岡、北九州、熊本、大分、宮崎、鹿児島)の国際空港を、また、平成20年度は鉄道、バス等複数の交通事業者が乗り入れている小倉駅において、外国人の視点から案内表示等の情報提供の実施状況を点検する「ひとり歩き点検隊」を実施したところです。

今年度は、初めての試みで、11月6日に博多港国際ターミナルを起点に天神地区から太宰府地区までの外国人観光客が多数訪れているルートにおいて、九州産業大学の千教授と同大学の3名の留学生（英語圏・韓国語圏・中国語圏）により調査を実施しました。

当日は、福岡市内の3つのテレビ局から取材を受け、外国人モニターに対しても積極的にインタビューがあり、各局の報道番組の中で放送されるなど、この調査に対する、関心の高さがうかがえました。

また、調査後に関係者による意見交換会を開催し、外国人モニターや関係機関

の方々から多くのご意見等をいただきましたが、今後、関係者が連携・協力して関連施設等を整備していく際の参考とし、また、他の交通結節点での外国人受入体制整備の参考事例として活用していきます。

なお、本事業に係る報告書を平成22年3月までに取りまとめる予定です。

当日の様子の写真は、次の URL からご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_60.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_60.pdf)

(企画観光部国際観光課)

「第7回 海事振興セミナー」を開催!

(財)九州運輸振興センターは11月30日に福岡市のホテルセントラータ博多において「第7回海事振興セミナー(後援:九州運輸局)」を開催しました。このセミナーは平成15年度から海事産業に関する情報を提供し、地域の海事産業の発展に寄与することを目的として開催しています。

開演に先立ち、福本九州運輸局長から九州における海事産業の現状と問題点等についての挨拶がありました。

続いて、前九州運輸局長で現在は国土交通省海事局の大黒伊勢夫 次長から「海事産業の現状と課題」と題して講演が行われました。

講演では、日本の貿易量(重量ベース)における海上輸送が99.7%を占めている現状である。また、日本国籍の船舶は年々減少しているが、日本の会社が管理する船腹量は世界でもトップクラスであり、海洋国家日本の商船隊は現在も活況を呈しており、海事産業の重要性や日本の海事産業が世界でも重要な役割を担っている等、グラフや図を使用しての大変わかりやすい説明でした。

また、九州は「一割経済」といわれていますが、そのような中であって離島航路や造船業は3割、長距離フェリー航路数は7割、また、他の海事産業においても2~3割を占めるなど、九州において、海事産業は地域に貢献する非常に重要な産業である等の講演がありました。

当日は、九州各地の交通事業者、自治体関係者など100名を超える参加があり、海事産業への関心の高さを改めて実感するセミナーとなりました。

当日の様子の写真は、次の URL からご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_60.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_60.pdf)

(交通環境部物流課)

~海の貴婦人「海王丸」に、うっとり~

船員教育訓練のみならず、海洋教室や体験航海を通じて海事思想の普及の一翼を担う「海王丸」が、11月28日~12月2日の間博多港に入港しました。

独立行政法人航海訓練所が運航する「海王丸」は、総トン数2,556トン、全長約110m、幅約14m、メインマストの高さ55mの大型帆船で、現在、実習生100人(内女子13人)、乗組員62人、合計162人が乗船し、内航での実習教育訓練中です。

今回は、残念ながら一般公開は実施されませんでした。皆さんに少しでも「海」と「船」の魅力を知っていただきたいと思い、写真を撮ってきました。

同船は、平成元年9月12日に竣工したそうですが、乗組員や実習生による毎日の点検・整備・清掃のお陰でしょう、とても船齢20年を超えた船には見えません。本当に船を愛したひとだけがこの船には乗っているのでしょうか。

実際の航海は時化の時もあり決して楽ではないはず。今後も無事の航海と

「海王丸」の活躍を願わずにはられません。

日本は四方を海に囲まれた海洋国家です。海と船の恩恵を忘れないためにも、ぜひ海や港に出かけ、船に乗られてはいかがでしょうか。

「海王丸」の写真は次の URL からご覧下さい。  
[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_60.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_60.pdf)  
(九州運輸局メールマガジン編集部)

## 【九州運輸局セミナー】

### 鉄道施設の検査の紹介

九州運輸局には技術課が2つありますが今回は鉄道部技術課の仕事の一部を紹介いたします。

九州内には、九州旅客鉄道株式会社や西日本鉄道株式会社を初めとして15の鉄道事業者が存在します。これらの鉄道事業者が駅や変電所の新設又は大規模な施設変更を行った場合には、国の完成検査を受けることが鉄道事業法で義務づけられています。小規模な施設変更は鉄道会社が社内検査を行います。

今般、九州旅客鉄道株式会社が行っていた長崎本線武雄駅付近の約3キロメートルに渡る線路の高架化工事が完成し検査の申請があったので鉄道部技術課職員が土木施設と電気施設の検査を11月24日から27日にかけて行いました。

武雄駅付近高架化事業は平成9年に鉄道施設変更の認可を取得し鋭意工事が進められ、第1期工事として平成20年に完成検査を実施し一部は事業の用に供していましたが、平成21年11月10日に高架工事の最終形が完成したことを受けて検査の申請が行われました。

検査は高架部分等の施設や駅施設が「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」等に合っているかを職員二人で設計図面等を見ながら各種施設の測定や作動状態の確認を徒歩により実施していきます。

土木部門の検査項目は、レールの軌間(直線部分とカーブではレールの軌間が少し違います。)、ホームと列車の間の離れ、ホームの幅及び高さ、駅の通路、階段等になります。

電気部門の検査項目は電力関係と信号通信関係があり出発信号、場内信号、ポイント、自動列車停止装置等の連動状況や電車線(トロリー線)の高さ等になります。

土木部門の検査は雨の中1日で終わりましたが、電気部門と信号通信部門の検査は初日の午前中から翌日の午前5時までとなりました。

今回の工事の完成で踏切が除去されることから鉄道事故の9割を占める踏切事故の削減の効果が期待されます。また、線路が高架されることにより線路の左右の往来の障害が除かれることから経済的効果も期待されます。供用開始は12月5日の予定です。

なお、今回のような線路の高架化事業は、九州旅客鉄道株式会社では、折尾駅周辺、熊本駅周辺、谷山駅周辺、大分駅周辺で西日本鉄道では下大利駅付近で工事が進められています。

最後に平成22年度になったら博多から新八代までの約120キロメートルの九州新幹線の検査が待ち受けていることをお知らせします。  
(鉄道部技術課)

## 【リレーコラム】

毎朝通勤途上で目にする風景のひとつが博多湾に架かる「荒津大橋」である。長さは300メートル以上に及び、またかなりの高さもある。遠景からでも行き交う車の一台一台まではっきり見えることから、ドライブすれば、さぞかし見晴らしが良いのではと思われる。橋の近くには、造船所や福岡魚市場などがあり、橋の下は埠頭に入港する大型船の航路にもなっている。

この橋の名前になっている「荒津」について調べてみた。名前からは、いかにも冬の荒々しい港を連想する。「荒津」の地名は「万葉集」にもいくつかの歌がみられる。遠く故郷を思う防人たちが詠んだ歌が多いようである。

草枕 旅行く君を 荒津まで 送りぞ来ぬる 飽き足らねこそ  
しるたへの 袖の別れを 難みして 荒津の浜に 宿りするかも  
神さぶる 荒津の崎に 寄する波 間無くや妹に 恋ひ渡りなむ

かつては大濠公園の池のあたりまでが入り江で、遣唐使や遣新羅使などの船が立ち寄り、ここから出国あるいは帰国していたとのこと。当時は、今と異なり、航海は命がけであったらしい。また、近くには、海外からの使節の迎賓館兼宿泊所である「鴻臚館（こうろかん）」もあったという。

現在、西公園（古くから荒津山と呼ばれていた丘陵地）や大濠公園にこれらの歌の歌碑が建てられているそうである。また、地図を開くと荒津の地名となっている場所は、石油基地などが立ち並ぶ工場地帯となっていて観光地ではないようであるが、西公園の高台からは眺望が期待できそうであり、いずれ時間を見つけて訪れてみたいと思っている。  
(九州運輸局海上安全環境部長 平田 浩司)

## 【編集長だより】

早朝、公園に降り積もった落ち葉の上を歩くとサクサクと快い感触が伝わってきました。樹々も冬支度を始めたようで、やがて葉っぱがなくなった幹肌を寒風にさらされる、厳しい一冬を堪え忍ぶための準備をしているのです。12月になるとクリスマスに向けて九州各地の街や樹木が華やかなイルミネーションで飾られます。場所によっては観光名所になっているところもあり、寒い冬の夜にもかかわらず多くの人を訪れます。稟と張りつめた冷たい空気の中、色鮮やかな光の芸術に触れるイルミネーション見物も、ここ数年で、冬の風物詩となりました。ちなみに、従来は電球や蛍光灯が使用されていましたが、最近ではLED（発光ダイオード）が主力になっているようです。消費電力が少なく寿命は半永久的で、くわえて、数年前、難しいとされていた「青色ダイオード」が実用化され、光の三原色である「赤・緑・青」が揃い様々な色が表現できるようになったことが理由のようです。

さて、12月3日にプレス発表しましたとおり、来週10日から年末年始の輸送等に関する安全総点検が始まります。九州運輸局も立入検査を実施しますが、関係事業者の皆さまも今一度初心に戻って総点検を実施願います。

また、12月3日から9日は「障害者週間」です。これは、広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されたものです。

九州運輸局でも、職員を対象にしたバリアフリー講習会を7日に開催します。バリアフリー及び介助に対する理解を深め、助け合いの心を醸成することで、国土交通行政に携わる職員の資質向上につながるはずです。

皆さまもこの機会に、障害のある方について知り、身近なこととして考えてみましょう。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。  
編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。  
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : [mm-kyushu@qst.mlit.go.jp](mailto:mm-kyushu@qst.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)

# 九州運輸局メールマガジン フォトライブラリー

## 第60号 平成21年12月4日(金)

### 現場レポート

### ○ひとり歩き探検隊



モニターに取材するTVクルー(博多港国際ターミナル)



天神地区の案内表示を確認するモニター



券売機を確認するモニター(西日本鉄道 福岡駅)



うーん 〇〇駅に行くにはどれを買えばいいのかな？



外国人への対応は？(太宰府の観光案内所)



天神バス停には案内係がいます。「これは便利だな！」



4カ国語表示で助かります(博多港国際ターミナルバス停)

## ○「第7回海事振興セミナー」を開催！



「海事産業の現状と課題～海事王国九州の再認識を～」をテーマに講演を行った 国土交通省海事局 大黒 伊勢夫 次長



来賓挨拶を行う  
福本 九州運輸局長

100人を超える参加者で埋まったセミナー会場



# ○～海の貴婦人「海王丸」に、うっとり～



明日からの航海に備え、一時の休息を取る「海王丸」



航海の安全を願う船首像「紺青」(こんじょう)



「紺青」船首部のここに取り付けられています



2,556総トンの船を操る船橋中央部の舵



1,500PSを誇るディーゼルエンジン(2基搭載)



機関制御室のコントロールパネル



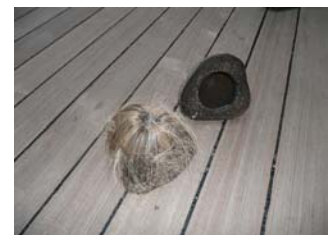
帆走する時は、この大きな舵を使用します



親切に対応して頂いた 乾(いぬい) 船長



日本国のフラッグが誇らしげな「海王丸」



これは何？

答え: 甲板を磨く「椰子の実」です